

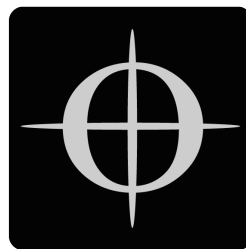
# CODA

C O D A A U D I O



## New Features

– LINUS Control v2.1.30 –



## 目次

|                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 1. 新機能 .....                         | 3 |
| 1.1. スピーカーファイルのアップデート .....          | 3 |
| 1.2. 設定ページ.....                      | 3 |
| 1.3 LINUS5-C / 10-C のフォールバック機能 ..... | 4 |
| 1.4 Conform All 機能.....              | 4 |



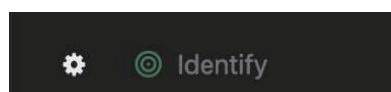
# 1. 新機能

## 1.1. スピーカーファイルのアップデート

|                          |     |                       |
|--------------------------|-----|-----------------------|
| N-RAY 1WAY Array 90°     | New | First implementation. |
| N-RAY 1WAY Array 120°    | New | First implementation. |
| N-RAY 1WAY Array 90° >>  | New | First implementation. |
| N-RAY 1WAY Array 120° >> | New | First implementation. |
| SCN                      | New | First implementation. |
| SCN Fly Behind           | New | First implementation. |
| SCN SUB Omni100          | New | First implementation. |

## 1.2. 設定ページ

設定ページ機能が追加されました。LINUS CONTROL ウィンドウの左下にある歯車アイコンを押すとページが開きます。

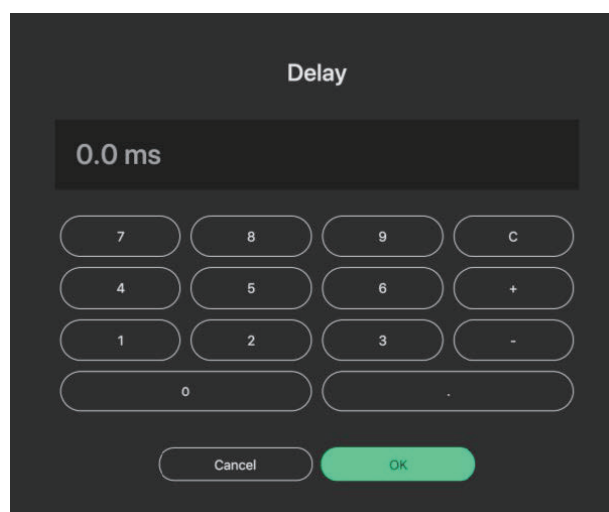


歯車ボタンを押してページを開くと以下のスイッチが表示されます。

- 1). Tablet Input
- 2). Remote Access

各スイッチを押すと、機能の有効 / 無効を切り替えることができます。

Table Input スイッチを有効にすると、Tuning Page 上で数値をクリックしたときに以下のウィンドウが表示されます。



Remote Access スイッチを有効にすると、LINUS CONTROL が他のコンピューターから遠隔でコントロールできるようになります。遠隔のコンピューターで使用するブラウザは Google Chrome である必要があります。詳細は Operation Manual をご覧ください。Remote Access スイッチを無効にしている場合、他のコンピューターからの遠隔コントロールはできません。

## 1.3 LINUS 5-C / 10-C のフォールバック機能

V2.1.30 より LINUS 5-C / 10-C でアナログフォールバック機能が使用できるようになりました。

注意) LINUS 5-C / 10-C でアナログフォールバック機能を正しく機能させるために、AES/EBU 入力の全系統を確認して下さい。AES/EBU 入力のうちいずれか一つでもクロックが外れるとフォールバック機能が作動します。

## 1.4 Conform All 機能

V2.1.30 より Discovery List に Conform All ボタンが追加されました。

「Conform All」 ボタンを押すと、ワークスペース上に存在するアンプモジュールが Discovery List 上に検出された同一 I D のアンプと入れ替わります。ワークスペース上のアンプモジュールがスピーカーをアサインしていた場合、Discovery List 上のアンプと互換性があるため、入れ替え後もそれらのスピーカーアサイン設定は変わりません。

